

# — 様似山道歩こう会のご案内 —

幕末、ロシアの南下におびやかされた江戸幕府は1798年蝦夷地調査を実施し、波が高く海岸を歩くのが危険な襟裳(サルルー目黒)と様似(幌満—冬島)の山道の整備をおこないました。そして、完成したのがおよそ7キロに及ぶ様似山道です。山道中腹には明治時代に建てられた旅籠屋跡(原田宿)を見ることができます。

実際に様似山道をガイドと共に歩いて、歴史ある様似山道と様似の自然を満喫してみませんか？

幌満東口～コトニ口までの約5時間のコースです。沢沿いの登坂や川を渡る場面があり、体力に自信のある方向けのコースです。

**2023年11月12日(日)**

**AM8:30～PM2:00**

**—雨天中止！—**

※当日朝8時半に幌満コミュニティーセンター(旧幌満小学校)駐車場に集合ください

※自家用車による移動が難しい場合には申し込み時にご申告ください

(自家用車がない場合には様似町中央公民館前に8時集合となり、送迎いたします)

【参加対象】 中学生以上 ※但し、保護者同伴の場合、小学生以下も可

【募集人数】 15名程度

【申し込み】 11月7日(火)までに教育委員会社会教育係(0146-36-2521)へ  
(平日9:00～17:30 受付)

【持ち物等】 飲み物、弁当、日帰り登山ができる服装、軍手、雨具、熊鈴等

※一部、ロープを伝い急斜面を歩く場所、川を渡る難所等があります。

